



海老名市 洪水・内水 ハザードマップ。

この地図は、神奈川県が作成した『洪水』の浸水想定区域と海老名市が作成した『内水』の浸水想定区域の浸水深を色別に表示したものに、避難所予定施設等を示したものです。

洪水とは



河川の氾濫又は堤防の決壊により発生する浸水

内水とは



排水施設の能力不足や河川の水位上昇によって、雨水が排水できずに発生する浸水

浸水深の目安

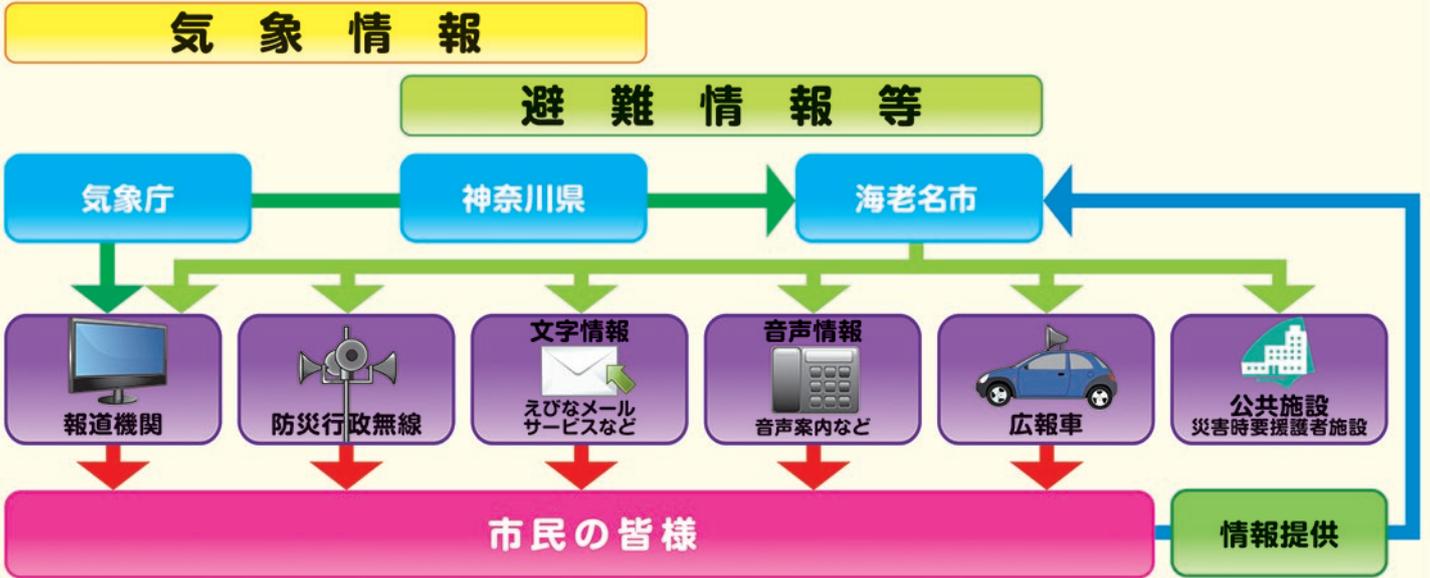


2.0～5.0m未満の区域	2階の軒下まで浸水する程度
1.0～2.0m未満の区域	1階の軒下まで浸水する程度
0.5～1.0m未満の区域	大人の腰までつかる程度
0.5m未満の区域	大人の膝までつかる程度

平成25年9月 海老名市市長室危機管理課・建設部下水道課

避難情報の伝達

避難勧告・避難指示などの情報は下図のように市民の皆様へ伝達されます。伝達方法を確認しておきましょう。



避難情報の種類	
避難準備情報	避難の準備を始めましょう。
避難勧告	避難を開始してください。
避難指示	直ちに避難してください。

避難行動に時間を要する方は避難行動を開始しましょう。

※大雨警報や洪水警報を聞いたら、避難の準備をしましょう。
 ※大雨や台風の襲来時期や規模は、ある程度予測することができるので、被害に遭わないようにテレビ・ラジオ・インターネット・防災行政無線などで最新の情報を収集し、早めの事前対策をしましょう。

防災行政無線 市内に設置された防災行政無線から防災情報を提供しています。また、防災行政無線で放送した内容は次の文字情報や音声情報で確認することができます。

えびなメールサービス

テレビ神奈川(tvk) デジタルデータ放送

<登録方法>
 psc2.i@fofa.jpに空メールを送信してください。送信後に返信メールが届きますので、返信メールに記載されたアドレスにアクセスし、設定を行うと登録完了です。

音声案内(テレドーム)
 ☎0180-994-050(有料)

その他の防災情報

エリアメール及び緊急速報メール
 海老名市のエリア内にいる方の携帯電話に災害・避難情報などを一斉に配信します。メールアドレスなどの登録は不要です。
 対応機種の確認は、各携帯電話会社にお問合せください。

コミュニティFM
 FMカオン (84.2MHz)

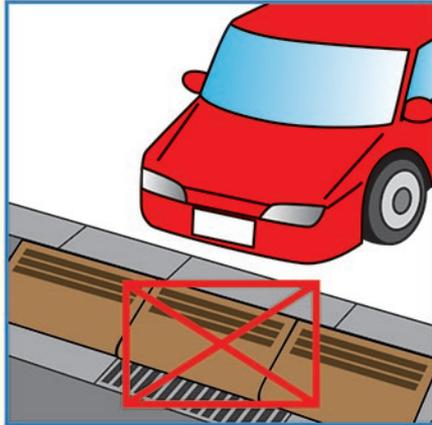
海老名市ホームページ
 防災、消防などについて記載しています。
<http://www.city.ebina.kanagawa.jp/>

海老名市防災ホームページ
 緊急情報、防災行政無線情報などについて記載しています。
<http://www.bousai.city.ebina.kanagawa.jp/>

日頃の心得



側溝や雨水ますの上部にたまったごみや落ち葉を清掃しておきましょう。



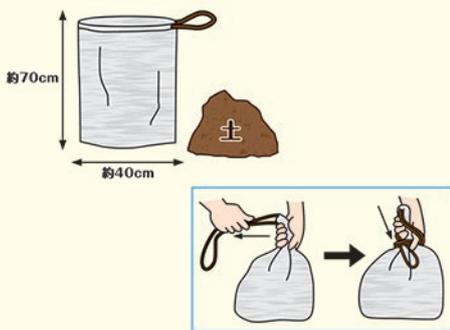
側溝や雨水ますの上部に、ブロックなど物を置かないようにしましょう。



出入口に土のうなどを使用し、浸水を防ぎましょう。

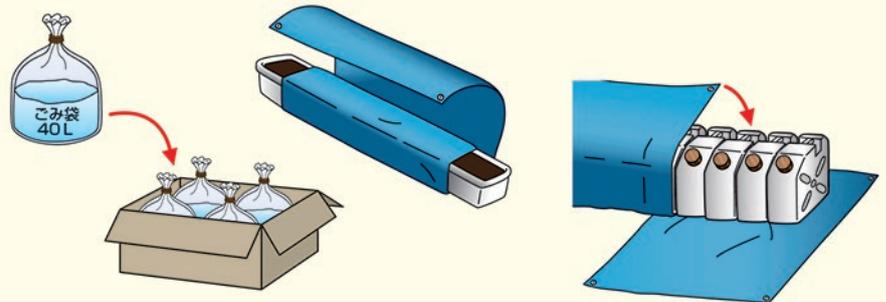
～ 土のうの作り方 ～

- ① 土のう袋に7～8割の土を入れます(重さ:およそ30kg)。
- ② 袋の端に出ているひもを引いて、袋の口を絞ります。
- ③ 袋の口の周りにひもを2～3回回し、回したひもの下にひもの先を上から下へ通して締めます。



～ 簡易水のうなど ～

- 家庭用ナイロンごみ袋(40L程度)を二重に重ね、中に半分程度の水を入れて口を閉めます。段ボール箱に入れ、並べて使えば強度が増します。
- 土を入れたプランターを並べ、レジャーシートで巻きます。
- 水を入れたポリタンク(10～20L)を並べ、レジャーシートで巻きます。



非常持ち出し品チェックリスト

- 携帯ラジオ・予備電池
- ライト・ろうそく
- 飲料水・食料
- 生活用品
- 衣類



- 救急薬品・常備薬
- ヘルメット(防災頭巾)
- 通帳類・証明類・印鑑
- 現金



避難するときの心得

一情報の収集と自主的避難を一

防災行政無線・テレビ・ラジオ・インターネットなどで最新の気象情報、避難情報に注意して、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



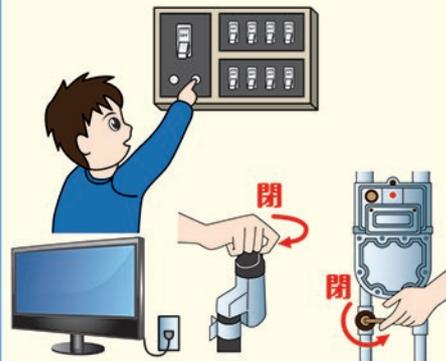
一助け合って避難を一

災害時要援護者など避難行動に時間を要する方々に声をかけるなど、隣近所で助け合って避難しましょう。



一避難する前に確認を一

避難する前には、ガス栓やガスメーターを閉め、テレビなどのスイッチを消し、電気のブレーカーを落としましょう。



一足元に注意を一

くぼみや溝を確かめるため、長い棒などで足元の安全を確認しましょう。また、避難時はスニーカーを履いてください。長靴は水が入ると危険です。



一徒歩で避難を一

車での避難は浸水すると動けなくなります。基本的には徒歩で避難しましょう。



一2階以上へ避難を一

外へ出ることが危険と感じた場合は、自宅や近くの建物の2階以上に避難し、水が引くの待ちましょう。



平成25年夏から気象警報の発表基準をはるかに超える現象に対して、特別警報を発表しています。

横浜地方気象台は、「平成23年台風第12号」による紀伊半島への大雨警報や「伊勢湾台風」による暴風警報のような警報の発表基準をはるかに超える異常な現象が予想され、重大な災害が起こるおそれが著しく大きい場合は**特別警報**を発表します。

特別警報が発表されたら

- 経験したことのないような激しい豪雨や暴風など異常な気象現象が起きそうな状況です。直ちに命を守る行動をとってください。
- 周囲の状況や市から発表される避難勧告などの情報に留意し、直ちに避難所に避難するか、既に外出することが危険な状態のときは、無理をせず家の中の比較的安全な場所にとどまってください。
- この数十年間災害の経験がない地域でも、災害の可能性が高まっています。油断しないでください。

特別警報のイメージ

